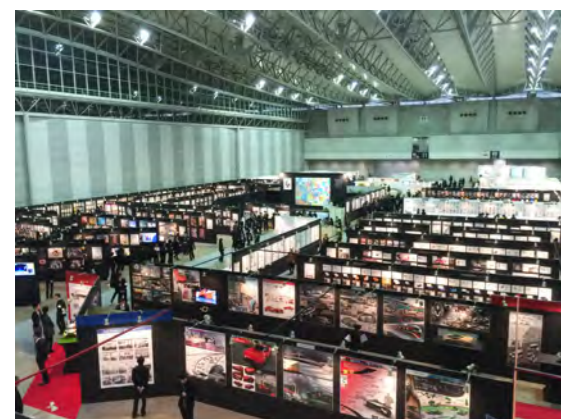


突撃取材 in TCA 卒業進級制作展

取材日：2015年2月6日（金）
（幕張メッセ国際展示場）



今月は、昨年9月号でもご紹介した東京コミュニケーション専門学校（TCA）が毎年開催している『卒業進級制作展』を取材して来ました。昨年、弊社との企業プロジェクトでLINEスタンプの制作に取り組んでいただき、最終選考を通過した11作品が、現在LINEスタンプに申請中です。TCAでは、産学共同教育を基本方針に掲げていることもあり、このような企業とのプロジェクトが数多く手掛けられており、その集大成の発表の場が卒業進級制作展です。非常にレベルの高い作品が多数展示されており、またその内容（専門学科）も多岐にわたっていました。大学を卒業した後に、更にTCAに入学する人が多いというも頷けました。今回の制作展では、CGアニメーション、3DCG、オリジナルイラスト、ゲームグラフィックデザイン、キャラクターデザイン、プロジェクションマッピング、漫画制作等々、殆どの作品がプロレベルでした。特に目についたのは、トヨタ自動車（株）とのプロジェクトで、「次の次のモーターショーを見据えたトヨタ車のデザイン提案」というタイトルがつけられた作品展示は、専門学校の域を超えていました。TCAの卒業進級制作展は、一見の価値があります！



↑幕張メッセ国際展示場 11 ホール



↑LINE スタンプ・プロジェクトの発表



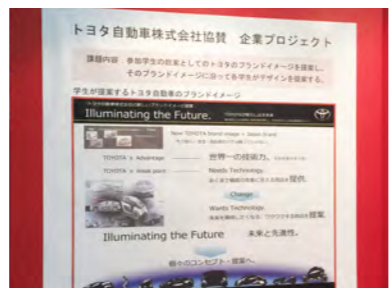
↑LINE スタンプ・プロジェクトの発表



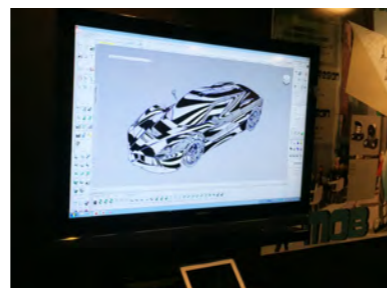
↑トヨタ・プロジェクトの展示



↑セグウェイのような近未来の乗り物。



↑フェラーリのデザイン制作も。



企業プロジェクトは、これまでに1,400社を超えています。TCAは3年制ですが、トヨタ・プロジェクトを実施しているような自動車デザイン科は4年制。学内には、FRPの成型・加工が出来る専用の作業場があるそうです。正に即戦力となるクリエイターを育成する学校です。

TOMOKO'S Recommendation music !!

音楽関係の仕事から一年あまり経つと、最近の音楽事情に疎くなり好きなアーティストしか追わなくなってしまっているのが現状なのですが、新たな音楽を発掘し、新しい感動や衝撃を得たい時の情報ツールの大半はやはりネットからで、その中でもインディーズアーティストやDIYアーティストを支援する音楽直営サイトのBandcampから得ることも多いです。簡単に楽曲をダウンロード販売出来、購入者が価格を決めることも可能でThom YorkをはじめSUB POPやNinja Tuneなどの有名レーベルもあるので楽しめます。そこでBandcampの中から私的おすすめアーティスト「Jesse and Forever」を紹介します。NY出身、2013年にセルフタイトルのアルバムをデジタル配信し、Twitterでは意味不明な日本語を呟いている（笑）こと位しか分かりませんが、ジャンルはネオアコ系で心地良いサックスが特徴の全体的にジャジーなアルバムです。基礎がしっかりしているので演奏は素晴らしく、お薦めの「Yellow Line」は涼しげな声と軽快なリズムが弾む、少しお洒落なポップソング。欠々にツボをつかれました。なかなか好みの音楽を見つけるのは難しいですが、見つけた時のこのときめきと感動を忘れずに日々探求していきたいものです。ちなみにトップページのBandcamp Weeklyの選曲はハズレがないのでおすすめです！

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エディープロジェクト 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29 共同ビル www.adproject.co.jp

adproject 公式 facebook を check

facebook adproject

adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

検索

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

2015 vol.033 2

Legend



第14回 美意識 ⑭
～美国主義～

ゼネラルプロデューサー
檜垣 俊幸

■新しい価値の創造提案を・・・

2015年は、今世紀の課題とは「新しい地球の存在価値創造」を提案する年です。それには、これまでがどんなパラダイム・シフトであり、今世紀で、どの「方向に向かい」どんな「希望と危機」が有るかと言う事を模索精査する必要があります。注意しなければならないことは、ミニマムなデータや予測に「偏らない」で「走らない」で、これらの記号化された「方向性」を探る事が大切です。

例えば、「原点回帰時代」とか「生物宇宙化時代」とか「シフトの交換時代」など、方向性（ベクトル）を概念定義する事で、コンセプトを明確にする事が大切です。これが思考時間の短縮化を図る為の基本です。ここが間違っていると最終段階で論理的矛盾を起し、掛けた時間の無駄を招きます。本来、思考とは結論の見えるもので、その自己納得の為の理屈ぞろえなのです。思考の前に何らかの感性分野での発見があるからです。

これらの矛盾には、①生命に対する危機管理矛盾②倫理宗教に対するドメイン設定矛盾③地球環境に対する期間矛盾④国家と個人のグローバル化の価値矛盾⑤技術開発の方向性倫理矛盾⑥エネルギー循環矛盾など、基本的な設定に問題があります。いずれも、相反する「概念崩壊」に関する事ばかりです。何をどの様にするのかと言う時間軸とサインとソルレインの相対的構造矛盾ばかりです。ここで、大切な事は、矛盾解決に向う行動価値が、時間軸での矛盾解決であり、それがまた新しい矛盾を生むと言う弁証法的スパイラル矛盾です。それは、論理検証の「あるべき姿」に問題が有るからです。人の幸せをどの様に定義すべきなのかと言う個人の多様化の自由選択にゆだねられた問題なのかもしれません。そして、それは左右の様相が大きく異なり相反する定義となってしまう問題ばかりです。しっかりとした現実主張は、権力を発生させ守ろうとする保守権力を生み出します。同時に権力に対する造反思想も発生させます。どちらにも「理」があります。そんな時の判断能力として、「どちらが、美しいのか？」と言う、次元を変えての判断基準で図る事も大切です。それは、「美」には互換性があるからです。

■美の価値

人の感性分野である「美的価値」は、しっかりと、そのフォルムと本質をとらえています。それは、論理的整合性ではなく、感性的合理性を持っているからです。



モデル：Anastasia / Height:176cm B:89 W:64 H:89
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

それは思考の形態に対する合理性において美しいフォルムを感じる事に、重要な意味合を持っているからです。論理以外に感性で物事を考える事が出来るからです。それは、「テーゼ」からスパイラル思考をたどり「アンチテーゼ」と成り、更にスパイラル思考をたどり「シンテーゼ」と言う定義に、思考するとして「弁証法的展開」をたどるとしてしています。これは、思考展開を「正反合」とする、物事の矛盾に対するスパイラル思考の有様である弁証法的展開を説いたものですが、この矛盾を解く概念には、論理や理屈ではなく「美的概念」の訴求展開があります。「美しければ許される世界」です。「楽しいが一番。」を訴求して来たADの次のステップは「美しすぎる。AD」に移ります。これは、次元を変えてのスパイラル志向の概念であり、私達の取り組むパーマナント・コンセプトであります。「楽しいが一番。」のADから「存在が美しいAD」にスパイラル思考した、普遍的概念の訴求へとバージョン・アップと願います。皆さんの「存在が美しい。」を求める価値基準で思考するADでありたいと言うことです。この為のアクション・プログラムを構築し、アプリの開発とダウンロード・プログラムを明確にするのが、2015年の課題です。

それは、ドイツ語のTheseの意味で有る定立から来ています。論理学、哲学の定義分類に属し、弁証法的展開の概念のひとつです。それは、「テーゼ」からスパイラル思考をたどり「アンチテーゼ」と成り、更にスパイラル思考をたどり「シンテーゼ」と言う定義に、思考するとして「弁証法的展開」をたどるとしてしています。これは、思考展開を「正反合」とする、物事の矛盾に対するスパイラル思考の有様である弁証法的展開を説いたものですが、この矛盾を解く概念には、論理や理屈ではなく「美的概念」の訴求展開があります。「美しければ許される世界」です。「楽しいが一番。」を訴求して来たADの次のステップは「美しすぎる。AD」に移ります。これは、次元を変えてのスパイラル志向の概念であり、私達の取り組むパーマナント・コンセプトであります。「楽しいが一番。」のADから「存在が美しいAD」にスパイラル思考した、普遍的概念の訴求へとバージョン・アップと願います。皆さんの「存在が美しい。」を求める価値基準で思考するADでありたいと言うことです。この為のアクション・プログラムを構築し、アプリの開発とダウンロード・プログラムを明確にするのが、2015年の課題です。

■「美的概念」の訴求

物事には、テーゼとアンチテーゼが有ります。



Project 1.

PRODUCER：弓狩 章裕

■Event：東雲キャラバン試乗会

■Date：1月31日(土)～2月1日(日)

■Place：ライコランドTOKYOBAY東雲店

入社して約1ヶ月、最初は右も左も分からない状況でしたが、会社にも徐々に慣れてきたかなと思います。ただ唯一慣れないのが、毎朝の満員電車。今までは、車で直接現場へという流れだったので・・・こちらでも早く慣れるようにしたいと思います。

さて、1月31日(土)～2月2日(日)の2日間にかけて、江東区東雲にあるライコランドTOKYOBAY東雲店でのバイクの試乗会に行ってきました。

前日、関東では雪が降っていたので、翌日の試乗会は無事に実施できるのかと多少の不安はありましたが、天候にも恵まれ、無事に試乗会を開催することができました。今回が自分にとって初となる試乗会の運営ということもあり、設営から受付、試乗、設営撤去までと、一連の流れや会場の雰囲気などを経験できたので、とてもいい勉強になりました。また、試乗会中は、時折、突風が吹き荒れ、のぼりが吹き飛ばされそうになったり、テントが大きく揺れたり、ドタバタに見舞われる場面も多々ありましたが、非常に寒中、寒さにも負けず、無事に2日間の試乗会を乗り切ることができました。今後も、さまざまなイベントに携わせて頂いて、私自身が少しでも早くスキルアップできる様に頑張っていきたいと思います。ちなみに私事でございますが、現在、大型自動二輪免許を取得するべく教習中です。

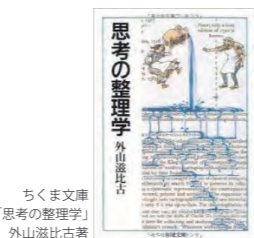
バイク関係の仕事に携わせて頂いているということもあり、今後バイクに乗る機会も増えてくると思いますので、乗ったときの楽しさ・気持ち良さなど、自分なりに伝えて行ければと思います。



Project 3.

PRODUCER：黒川 和紀

■TITLE：《飛行機人間》のすすめ。



「学校はライダー人間の訓練所である。飛行機人間はつくらない」
“東京大学・京都大学で一番読まれた本”という意図でも有名な『思考の整理学』(外山滋比古著)に登場する一文です。本書曰く、ライダーと飛行機は、遠くから見てる分には同じような飛行物体である。しかし、ライダーは悲しいかな、自力で飛ぶことはできない。学校は、知識量が優れた“ライダー人間”の訓練所みたいなもので、自分で考えて答えを見つけ出す“飛行機人間”を育てる努力が足りていない。

世の中には、飛ばされれば(指示されれば)能力を発揮するライダー型の人間が圧倒的に多く、自力で飛べる能力を備えた飛行機型の人間は少ない。しかも、ライダー型の人間の方が、世の中で評価を受けていることも往々にしてある。しかし、あらゆる道を切り開くには、飛行機型の力が必要だ――。

いま企業が求める「コミュニケーション能力」(受け手からすると漠然としたイメージ)は“飛行機型人間”の創出なのではないかと勝手に想像しています。人とコミュニケーションを取る能力はもちろん大事ですが、自らの考えや行動をコミュニケーションを通じて解決する能力。それこそイマが求めるコミュニケーション能力なんじゃないかなと・・・環境の違いはありますが、現東洋大学水泳部監督を務める平井伯昌さんも“飛行機人間”であることの大切さを語っています。北島康介・中村礼子・寺川綾・荻野公介など五輪の大舞台でメダルを獲得した選手たちは、個性の違いはあれ、皆“飛行機人間”であると言われています。どれほどの才能があっても、自分で考えて実行する能力がないと、指示された練習をこなすだけの状態になります。意志がなければ問題意識も生まれず、創意工夫もできないので、練習の質は高まりません。試合に負けた時、「なんで負けたんだろう」「次に勝つためにはどこをどうすればいいのだろう」と、振り返りがなければ、次につなげることはできない。次の試合も同じ失敗をしてしまう。頑張っているが、成長はできないという負のループに陥ってしまう。“飛行機人間”であればあるほど成長を続けられると。企業において若手社員を指導する場合、営業成績など目に見える成果が問われる中で、「すぐ答えを求める」若手社員にとって「すぐ答えを教える」上司は、いい上司となる。しかし、それでは早晚、限界が来るはず。言われたことを卒なくこなすけれど、それ以上のことはできないとなれば、上司はいつになっても指示を続け、部下は指示を待つことになる。こうした“ライダー社員”を増やすのではなく、“飛行機社員”を育てるには、業務に忙殺される環境の中でも、考える時間を与えることが非常に重要ではないかと思えます。自分は“ライダー型”か“飛行機型”か。たまには、親指をタブレット端末から自分のあごの下に持っていき時間を作ってみるのもいいかもしれません。



『CM放送料が世界一高いスーパーボール』



Project 2.

PRODUCER：宮崎 詩子

■Event：祝・対談 50回☆JAFMATE誌「あったカー対談」

■Date：2015年1月19日

■Place：ELE TOKYO



久保純子さんをインタビュアーとして迎えて始まった「あったカー対談」。次の4月号でついに50回目となります。ゲストは、久保さんの中学時代の憧れのアイドルだった葉丸裕之さんから始まり、車愛好家の所ジョージさんやイケメンの仲村トオルさん、純真無垢な平原綾香さんや、雄々しくも思慮深い武井壮さんなど、あらゆるジャンルで活躍する方が、TV画面では見られなかった魅力を見せてくださいます。50回の中でどのゲストが印象的だったか?という話を先日中間としていたのですが、私はブラザートムさんをすぐ思い浮かべました。トムさんの話し出しが「僕はあまり車が好きじゃない」、という不穏な言葉から始まったのでインパクトもあったのですが、そこからの対談は終始「センス」を感じる1時間でした。灰皿が大きいというだけでキャデラックを選んだという話、子供の本音を聞くのに自分の素手をパペットに見立てて相談に乗っていたという話、「若いヤツが正しいと決めたから、年下には敬語を使う」という持論などなど、とにかく予想を超えた返しに



翻弄されっぱなしでした。その全ての言葉が馬鹿馬鹿しいに繋がっていて、爽快感さえ覚える、そんな回でした。対談は、そんなゲストの魅力を引き出す相手がいて成り立ちます。進んでいくうちに出来上がる高揚した対談の空気を淀めず、且つポイントを押さえながら切り替えて魅力を引き出す久保さんにはいつも脱帽します。先日の対談後、久保さんのバースデーと対談50回目おめでとうのサプライズを決行しました。目指せJAFMATEの黒柳徹子!ということであ...。次号のゲストは、木梨憲武さんです。JAFMATE、そういえばウチにも届くな...という方、是非一度目を留めてみてください。



PRODUCER：岩下 信而

■「日本のエンターテインメントなう」

2001年に古今亭志ん朝を亡くして以来、まったく寄席通いをしなくなった。落語好きの知人たちが、誰それの噺は良いよ、などと誘ってくれるのだが、どうも気が乗らずお断りしている。後添えを貰わないやもめか、小津の映画の原節子みたい(笑)

テレビも魅力が失せて久しい。頼みのたけしさんは強くなり過ぎてしまったし、帰ってきたタモリは、「タモリ倶楽部」以外はクリシェ状態。奇しくも彼の愛するJAZZミュージシャンたちと同じ運命をたどるのかな。数少ない楽しみは伊東四朗さんの舞台ですが、スケジュールが合わないなど、見逃す機会が多く残念。

そんな中、萩本欽一が坂上二郎 2号と大絶賛するほどのボケの妙技、小倉久寛の還暦公演を観た。ぼくは、欽ちゃんや小倉の相手方の三宅裕司、海外ではマルクス兄弟やステューパーマーン、無責任男の植木等や、近年の古美門研介などピカレスクロマンともいえる、不条理でクールなツッコミ芸が大好き。身勝手、時にはサディスティックなほど無理難題を突き付けてくる相手に対し、二郎さんや小倉は、どんなシチュエーションにおいても、時には従順に、また時にはシニカルに、さらに時には上手く誤魔化しながらもひたすら受け続ける。ぼくたち観客は、いつのまにか我儘な欽ちゃんや三宅の方に感情移入をしてしまう。そのパラドックスがとても可笑しいのだ。さて当日はそんな小倉、三宅の見事なカケヒキの上質なコントに加え、日替わりのサプライズゲスト登場。ぼくは幸運なことに、笑福亭鶴瓶の「生スジナシ」ともいえる話芸を充分に楽しむことができました。



名店イルキャンディの若旦那と



やはり本多劇場は良かった

そして帰りにや、川で足を洗って～じゃなくて、芸能人御用達のサラダドレッシングが秀逸のイルキャンディに立ち寄り舌鼓。ご機嫌の一夜でした、では次号 Ciao!



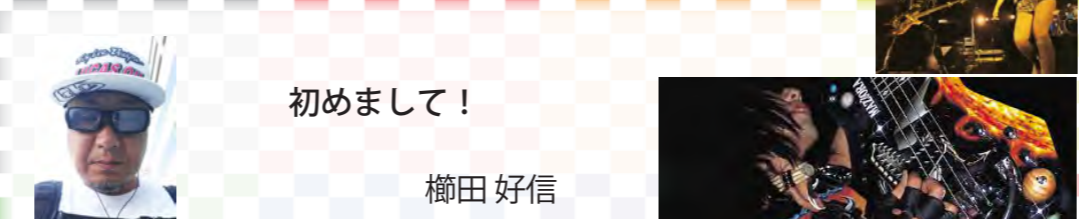
仕事を難しくしないでやる

PRESIDENT：榎垣 俊吾

時々見かけるのは、ある目的に対して企画を考える上で、どんどん難しい話へと膨らまして大きな話にしてしまうパターンである。企画するにあたっては、もちろんさまざまな角度から考える必要があるが、もともとのお話より難しい方向に導いてしまうのは企画のプロではない。整理をしてどんどん簡単な話にすべきである。まさに私が思うことがクイズ形式で紹介されていたので、皆さんも一緒に下記のQをそれぞれ「Yes/No」で考えて欲しい。

- Q1：企画書を作る上で、もっとも大切なものは「分析力」である。
- Q2：相手を説得する上で、もっとも重要なものは「論理性」である。
- Q3：説得力のある企画書には、「美しいレイアウト」が欠かせない。
- Q4：良い企画書を作るためには、「発想術」が重要である。
- Q5：言いたいことが「1枚でまとまっている」のが良い企画書である。
- Q6：企画書を通すためには「うまいプレゼン」が必要である。

企画書づくりがニガテだと感じる人が抱きがちな6つの思いこみだという。すべて「No」が正解。Q1：分析力は大切ですが、分析の結果を羅列しただけではよい企画書にはならない。Q2：論理性よりも、心を動かす企画書づくりが大切。感情に訴えかける企画書づくりをすべき。Q3：見映えにこだわることも、こちらの意図を相手に伝えることに集中しなければならぬ。Q4：やたらと多くのアイデアを詰め込むよりも、数は少なくてもいいから、企画者の意図がしっかりと込められた、濃密なバックグラウンドを持つアイデアを厳選して提案することが大切。Q5：本来、自分が頭のなかで考えたことをすべて網羅した企画書にするためには、ある程度の長さが必要になってくるはず。Q6：大切なのは、あえて説明やプレゼンをしなくても文脈を理解できるような、わかりやすい仕立て。誰が見ても理解できるようなシンプルな構成を心がけ、社内で“一人歩き”できる企画書を目指すべき。すでに分かっている人も多いと思うが、最近の企画のやり方を振り返って考えてほしい。



初めまして!

榎垣 好信

今回初の出場と言う事で、お題を何にしようかと悩み悩んで、私の隠しの技?についてお話しをしようと思います。実は私、インチキデザイナーとしてのお仕事もさせて頂いております。オートバイのグラフィックやヘルメットのグラフィックデザイン。またパッケージデザイン、リーフレットなどもやりましたね。私人でする場合と、オペレーターさんと一緒にする場合とありますが、私のデザインのやり方としては、まずデザインする図面?に鉛筆でザッとイメージを書き、そのままライン入れや色付けをする場合と、オペレーターさんにまわして、私のイメージを伝えながら、一緒に作って行くパターンがあります。その中でも一番私自身思い出に残ったデザインの一つが、もう解散してしまったのですが、“ジュディー・アンド・マリー”と言うバンドのリーダーでもある、恩田快人氏のバースデーのデザインでした。彼らのPVやテレビ番組、またラスタライブにも使用して頂きました。今回エディーププロジェクトでお仕事をさせて頂く事になり、今まで出されなかった事や、色々な方との交流も踏まえ、ガンガン盛り上げて行かれればと思っております。面白い事があれば、色々やって行きたいと思っておりますので、皆様のフォロー宜しくお願い致します!(フォローするのによって、怒らないで下さい)